

1 回 戦

八学野西 106 000 106 | 14
弘前 000 120 000 | 3

(八) 立花、塩倉、横濱一木村
(弘) 山下、熊澤、三上、長牛一長牛、山下
▷本塁打 鈴木(弘)
▷三塁打 大平、佐々木(八) ▷二塁打 大平、川原2、小笠原(八) 熊澤(弘) ▷暴投 立花、横濱(八) 山下、熊澤(弘)
▷試合時間 2時間50分
(球審=蝦名、塁審=工藤、小西、中村)

【評】八学野西打線が17安打14点と爆発した。三回は佐々木の適時打、川原の2点二塁打、小笠原の2点適時打、鈴木の本塁打で6点を奪い、主導権を握った。弘前は四回、鈴木がソロ本塁打。五回も山下の中飛などで2点を返したが、反撃もここまでだった。

弘前・遠藤伶央主将(17安打14失点での敗戦)「相手打線に苦しめられた。中盤は点数を取って、いい流れに乗って追い上げたかったが、最後にまた点差を広げられ悔しい」

野西 打線爆発14点

3回、打者11人猛攻



○：八学野西は三回に打線が爆発。打者11人、長短く意識で臨み、ボールも合わせた7安打で6得点と極められていた。初戦からみ掛け、主導権を握った。いい形で打って、次戦に向けて自信になった」とうななりの安打3打点活躍しすぎた。

夏の初戦だけに、立ち上がりは選手たちに硬さもある。それを証明するように17安打14得点の大勝。目標の一点、やるべきことをやっていくだけ」と気を取り直して、選手たちに慢心は締めていた。

【八学野西―弘前】3回無死満塁、八学野西は川原登湖が右中間に適時二塁打を放ち、4―0とする二タイムイン

第103回 全国高校野球選手権
青森大会